

こおりやまの市民活動(ボランティアやNPO)を応援する広報誌

あしすとはあく

第55号

2019年12月1日発行

発行：郡山市民活動サポートセンター
(愛称：アシストパーク郡山)

特集—市民の力ではじめる—

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



市民活動はじめました—活動紹介

① 人生100年時代を生きる新しいシニアライフの提言

シニア世代のサードプレイス「ハーベストカフェ」

② こどもたちの明るい未来を願い「児童虐待防止」啓発活動

ふくしまオレンジリボンたすきルー 2019 in こおりやま



写真中央：ハーベストカフェ 代表 満井みさ子さん
他：ハーベストカフェメンバーの皆さん

ハーベストカフェ



シニア世代が培ってきたものを生き甲斐につなぐ交流の場づくり♪

みんなで発言し、全員が主役となる気持ちの良いコミュニティ運営が楽しい!



ハーベストカフェ 代表 満井みさ子さん

交流サロンが開かれる会場は、音楽が流れ、一組の商談の話し声が聞こえる起業家が集うスペース内、中央の卓球台の周りに一人、また一人と参加者が集う。家でも、職場でもない、地縁のつながりでもない「サードプレイス」として、アクティブシニアの交流の場づくりを目的とした交流サロン「ハーベストカフェ」が開かれていきます。

昨年八月より、郡山市のスマスタ・in・こおりやま広域圏平成三十年度事業に条件付で採択を受けスタート。今年は、四月より定期開催を重ねシニア世代の生きがいづくりを目的に、参加者自ら考え、話し合い交流を深める場となっています。

代表の満井みさ子さんへ「ハーベストカフェ」についてお話を伺いました。

活動をはじめた経緯

満井さん これまでライターという仕事を通じて、色々な方にお会いしたり、インタビューをしてきました。お話を伺う中で先輩世代のお話をもっとお聞きしたい、と思うようになりました。自分の知らない時代生きてきて、まだ経験していない年齢を生きている皆さんの経験の蓄積、知恵が先輩たちの言葉に詰まっている。そんな大切な宝のようなお話に触れたいと思ったことがきっかけです。

どのような形で進めてゆこうかと考えていた時に、昨年の春に募集されていた郡山市の事業で、元気な地域をつくるための取り組みを支援するスマイルスタート支援事業を知り、応募。条件付き採択となり、活動をはじめました。

皆さんの「社会とつながり、必要とされる」気持ちを大切に、一歩ずつ進めてきました。

まちかど先生プロジェクトとは？

満井さん シニア世代の皆さんのそれぞれに、人生のストーリーがあり、これまでにのお仕事や、趣味など長年続けていたこと、得意なことなどの経験談をお話しいただく「まちかど先生」を募集しています。先生として、お話しされる方は、自分のことを伝え、楽しみ、参加者は、自分の知らないことを学び、楽しむひとときを過ごすというものです。

今年も、その中でも、「人生100年時代の達人」三名をゲストにお招きして、参加者の興味や活動範囲がさらに広がる企画として実施しています。

サロンの外にも活動を広げて

満井さん 皆さんのお話の中から生まれた企画「大人の遠足」では、少し離れた場所に出かけて、地域の自然や食を楽しんだり、陶芸体験に出かけたりしました。

ハーベストカフェの参加者の皆さんの「やがて利用することになる介護施設を利用したい場所にする」という思いから、介護施設の利用者と話をするボランティア活動グループ「しゃべんね会（しゃべんねがい）」を立ちあげました。

やってみたいことを無理のない範囲で実現しながら、世代間の継承を念頭に入れながら活動しています。

昨年から活動を継続する中で、様々な方から情報をいただいたり、新たな参加者の知識や経験が加わり、少しずつ可能性が広がっていく「ハーベストカフェ」の姿が見えてきます。

参加自由、無理なく気軽に立ち寄れる「ハーベストカフェ」へ遊びに来てください。



ハーベストカフェ
会場 co-ba koriyama
〒963-8001
福島県郡山市緑町 9-12
開催日程：毎週火曜日 10:00～11:30
TEL: 080-3190-5186
メール: bringmisako@gmail.com



Web ページ



Q&A

教えて! 市民活動相談 (窓口や問合せ・相談申込書で寄せられた相談事例からご紹介します。)



Q NPO 法人を運営しています。寄附を頂けることになりました。寄附者の税金控除はありますか？



A NPO法人への寄附は、企業であれば「損金」処理が可能です。個人の場合は、控除はありません。NPO 法人でも、「認定」を取得すると税額控除が受けられます。



Q 町内会の有志で「子ども食堂」を開設したいと考えています。運営や助成金について相談したい。



A スタートアップや持続的な運営の参考となる子ども食堂の開設ガイド（衛生管理含む）や助成金を窓口でご案内していますのでご利用ください。

ふくしまオレンジリボンたすきりレー 2019 in こおりやま



11月は、児童虐待防止推進月間です！

「ほっとけない」わがまちのこどもたちの笑顔をお願い、「やってみよう！」からスタート。

児童虐待の防止等に関する法律が平成十二年に施行され、行政、児童相談所などの専門機関・市民活動団体、教育機関、児童養護関連など多くの担い手が連携し子どもの虐待防止の取り組みを進めてきました。

現在でも、痛ましい虐待の報道は、私たちの胸を締め付けます。

全国的に児童虐待防止のシンボルとして認知が広がる「オレンジリボン」を活用した「オレンジリボンたすきりレー」が全国で行なわれています。

今年、十一月十七日に郡山市ではじめてとなるオレンジリボンの啓発活動「ふくしまオレンジリボンたすきりレー2019 in こおりやま」が行なわれました。

主催は、小学校を中心に子どもたちへ、様々な暴力から自分を守るためのCAPプログラムを届けたいCAPこおりやまの皆さんです。



開会式では、福島県で最初にこの活動をはじめた「ふくしまオレンジリボンたすきりレー」事務局の影山和輝さん（白河市）の手から、こおりやまへたすきが渡されました。

品川萬里郡山市長の「Love Your Mats（位置について）スタート」の掛け声で出発。オレンジリボンの入った啓発チラシを配りゴールしました。

CAPこおりやま代表 松本美津子さんは、「参加者を増やし来年も開催します。」と笑顔で来年への意気込みを話しました。

オレンジリボン運動（児童虐待防止）



子ども虐待防止
オレンジリボン運動

□提供：認定 NPO 法人児童虐待防止全国ネットワーク

虐待の現状は、子どもたちが抱えている問題です。児童虐待防止は、子どもたちの安全と健康を守るために、私たち大人が取り組むべき課題です。児童虐待防止は、子どもたちの安全と健康を守るために、私たち大人が取り組むべき課題です。



ふくしまオレンジリボンたすきりレー2019 in こおりやま事務局

Capこおりやま
Tel : 080-5555-3491
Fax : 024-932-4713
E-mail : mitsukomatsu@yahoo.co.jp



団体 Facebook ページ

まちのわ

協働から始まるまちづくり

オレンジリボン運動とSDGs
「つながる」



私たちの周りでも少しずつ身近になってきたSDGs【Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）】は、様々な社会課題に対して、誰ひとり取り残さないことを目指し、私達社会で暮らす一人一人が丸となって達成すべき目標で構成されている点が特徴です。

16 平和と公正をすべての人に



SDGs 16番目の目標
「平和と公正をすべてのひとに」

SDGsは、17の目標と169に細かく分類されたターゲットが設定され、児童虐待を防止する取り組みは、16番目の目標「平和と公正をすべての人に」の16.2に該当する、子どもに対する暴力撤廃を目的に設定されています。

日本では、児童虐待防止法が施行され、国や地方自治体、関係各機関が取り組んできましたが、十分ではありません。

17 パートナリシップで目標を達成しよう



SDGs 17番目の目標
「パートナーシップで目標を達成しよう」

未来に向かって、SDGsの取り組みを進めて行くには、様々な垣根を越えて協働して行くこと「つながる」ことが重要です。17番目の目標「パートナーシップで目標を達成しよう」を実践することが解決には欠かせません。

自分たちだけで行うのではなく、協力と参加を発信し「巻き込む」ことが未来に向けた課題解決のキーワードとなっています。

児童相談所全国共通相談ダイヤル

いち はや く
児童相談所
全国共通
3桁
ダイヤル
189



「虐待かな？」
郡山市子育てページ

市民活動団体・町内会のお役立ち情報

助成金のことなら郡山市市民活動サポートセンターへご相談ください。

町内会で助成を検討する場合は、恒例行事ではなく、地域の防犯対策活動や子どもの居場所づくり活動やシニア世代の社会貢献活動など、民間団体の助成を受ける事が可能です。（次年度の募集時期を掲載）

郡山市市民活動サポートセンター助成等のページが閲覧できます。

シニアボランティア活動助成

募集時期：春（4月から5月）
応募内容：社会福祉に寄与する活動など

子どもゆめ基金

募集時期：春・秋（5月10日）
応募内容：子どもの体験活動・読書活動

ふくしまジュニアチャレンジ(表彰)

募集締切：2019年12月31日
応募内容：小学生・中学生のまちづくり活動を表彰



NEW 市民活動・ボランティアをはじめませんか!

既存のボランティア活動やグループに参加する。自分ではじめる。NPO を立ち上げる。市民活動サポートセンターへ相談ください。

スマートフォンでボランティア情報を確認できます。

住民参加型在宅福祉サービス事業

助っ人会員募集 (有償ボランティア)
内容: 高齢者の日常の困り事解決
問合せ: 社会福祉法人
郡山市社会福祉協議会
TEL: 024-932- 5311

雪かきボランティア登録者募集!

高校生以上の「雪かき」が出来る方
内容: 雪かきの作業 (屋根の作業は除く)
問合せ: 社会福祉法人
郡山市社会福祉協議会
TEL: 024-932- 5311

「子ども若者関係者100人会議」

子ども若者に関する地域課題を広く皆さんと共有するためにイベントを開催します。
開催日時: 2019年12月15日(日)
問合せ: こおりやま子ども若者ネット事務局
TEL: 024-973-5667 (キャリア・デザイナーズ)



第1回市民協働まちづくり塾 (実践コース)

市民活動に関心がある、NPO 法人の持続可能な、まちづくり活動を行うためのヒント・コツを学ぶ塾を開講します。実践コース(第1回/全2回)

実践コース (全2回)

新しいものさしで考えよう
「持続可能な地域づくり」
SDGs の取り組み



特定非営利活動法人
みなみあいづ森林ネットワーク
事務局長 松澤 瞬氏

まちづくりの持続可能な取り組みとして大変参考となる SDGs 目標 17 番を実践している活動についてお話いただきます。

時 2019年12月20日(金)
18:00-19:30

場 郡山市中央公民館

問 郡山市市民活動サポートセンター
☎ 024 (924) 3352
✉ ap@utsukushima-npo.jp



市民活動交流サロン

こおりやま市役所deかふえ



賀詞交歓会 Ver. オフサイト SP 第2弾

こおりやまを大好きな人が、集いつながる
こおりやま市役所 de カフェが賀詞交歓会を開催!

時 2020年1月24日(金)

場 調整中 19:00 ~ 21:00



詳細は、Webにてご案内します

問 郡山市市民活動サポートセンター
☎ 024 (924) 3352
✉ ap@utsukushima-npo.jp



市民活動運営相談コーナー

市民活動運営相談 **予約制**

平日午前・午後

問 郡山市市民活動サポートセンター
☎ 024 (924) 3352
✉ ap@utsukushima-npo.jp



会計相談 **予約制**

月火水 午後

NPO 法人の会計相談が市役所内で受けられます。(簿記はサポート対象外)

つながる・つくる・つたえる 誰もが住みやすいまちづくり活動を応援!

発行: 郡山市市民活動サポートセンター (愛称: アシストパーク郡山)
住所: 〒963-8601 福島県郡山市朝日一丁目 23 番 7 号 郡山市役所西庁舎 3F

電話 / FAX: 024-924-3352

開所時間: 8:30-17:15

休館日: 土、日、(祝・祭日)

<http://www.assistparkkoriyama.net/>

[✉ ap@utsukushima-npo.jp](mailto:ap@utsukushima-npo.jp)

運営委託: 郡山市市民部市民・NPO 活動推進課

運営受託: NPO 法人うつくしま NPO ネットワーク



出前サービス実施中!

出前相談・ミニ講座 (カスタムOK!)
相談、ステップアップのためのミニ講座など出前対応します!

(数人の参加者でもOK!費用はかかりません)

問 郡山市市民活動サポートセンター
☎ 024 (924) 3352
✉ ap@utsukushima-npo.jp



例
はじめての助成金講座
活動基盤学習講座
NPOのSNSやWeb広報
NPO法人寄附プログラム

編集後記

市民活動の「ちょっと気になる」コーナー

全国的な市民活動団体の流れとして、寄附を受けている団体は、情報公開に工夫を凝らし、アニュアルレポートを作成し、市民に向けた活動報告会を開催する団体が増えています。

令和元年台風第19号に伴う災害で被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。多くの市民活動団体から、被害が報告されています。市民活動サポートセンターでは、助成金相談をお受けしていますのでご利用ください。